

米国ウエストバージニア州駐日代表が着任挨拶

1月23日、米国ウエストバージニア州政府日本代表事務所のトレイ・ホフマン(Trey Hoffman)駐日代表が着任挨拶のため中経連を訪れ、山内専務理事と懇談した。

同州事務所は1990年に名古屋に設置され、現在、同州に日本企業17社(中部地域からはトヨタ自動車、日本特殊陶業、岡谷鋼機、豊田通商、明治電機工業など8社)が進出。

ホフマン代表はこれまでの誘致活動の成果である自動車産業に続き、同州の得意なバイオ分野も活かした代替エネルギー

など、新産業分野の開発に強い意欲を持っており、厳しい経済環境下ではあるが、当地域との更なる関係強化への期待を表明した。

ホフマン代表は、テキサス州ダラスの出身、1995～96年に文部科学省研究員として慶応大学で日本美術史を学んだ後、京都府亀岡市で国際交流員も経験、さらにリンナイ・アメリカのマーケティング・マネージャーなど中部の企業での勤務実績もある。



「長野地域講演会」を開催

中経連は1月30日、社団法人長野県経営者協会と共催で、長野地域講演会を松本市内で開催した。今回は、(株)日本総合研究所理事の呉軍華氏を講師に迎え、「2009年金融危機を乗り切れるか、中国経済と政治」というテーマ講演し、約90名が聴講した。

講演の中で呉氏は、①中国経済の現状、②景気後退の背景、③危機脱出のシナリオの3つのテーマについて、それぞれ自身の見解を述べた。具体的には、中国では2007年以降景気拡大ペースが急減速しており、改革以降最大の経済危機にある。

重要な産業分野である鉱工業部門の中で、重工業の落ち込みが特にひどく、工業全体の失速を促している。不動産部門では、深圳の価格の落ち込みがひどくバ



ブル崩壊の懸念がある。1999年に失業対策として大学入学者数の枠を広げたことにより、現在では大学卒業者数が急激に増加し、就職できない学生が急増している。1999年から続いた「WTO加盟」による景気が2007年第2四半期を境に拡大から調整に転じ、2008年10月以降は、日・米・欧州への輸出が急減している状況を述べた。

また、呉氏は今後中国経済は、短期的には底割れのリスクは回避できるが、中期的に再調整の局面を迎える可能性が高く、W字型のようなシナリオを辿ると予測した。さらに、この再調整を回避するには、投資・

外需依存型成長から消費主導型成長への移行、疾走型経済から安定走行型経済へ移行が不可欠であると述べた。

岡崎商工会議所女性部主催講演会

1月26日、岡崎商工会議所女性部の1月例会が岡崎ニューグランドホテルで開催され、中経連の川口会長が講演を行った。

講演は「街づくり、人づくり～社会での女性の活躍に期待すること～」と題して行われ、約40名が聴講した。

岡崎商工会議所女性部の例会は、女性の視点を活かした地域の活性化のための勉強会として、定期的に開催されている。講演では、川口会長より魅力ある地域づ

くりには「地域の元気」と「人材の育成」などが重要であり、中経連では地域の活性化のために道州制などの実現に向けた活動を推進していく旨を述べた。講演後には、川口会長と参加者の意見交換も行われ、「街づくり、人づくり」について、活発な議論が交わされた。



平成21年度貨物事業の取り組みについて発表 中部国際空港利用促進協議会

中部国際空港利用促進協議会は、1月22日、平成21年度貨物事業の取り組みについて発表した。

来年度は、貨物事業に重点を置き、貨物就航便、国際貨物取扱量増大のための効果的かつ即効性のある施策・事業を右記の通り展開する。また、これら事業について、企業の新年度物流計画への反映を目指し、前倒しで取り組み内容を発表した。

- ①荷主企業向け輸入促進キャンペーン(継続)
- ②フォワーダー向け輸入促進キャンペーン(新規)
- ③トラック共同輸送事業(新規)
- ④パートナー企業連絡会の開催(継続)
- ⑤「フライ・セントレア・カーゴ」かわら版の配信(継続)

ホームページを開設! <http://www.fly-centrair.jp> 中部国際空港利用促進協議会

中部国際空港利用促進協議会では、PRツールとして、当協議会の組織・活動方針・活動内容を分かりやすく紹介したホームページを開設いたしました。

セントレアの優先利用を呼びかける、「フライ・セントレア」、「フライ・セントレア・カーゴ」事業を中心に、協議会の発行物等がご覧いただけます。是非、ご覧下さい。

